

宮城県感染症発生動向調査情報

令和元年5月8日発行

2019.4.22～2019.4.28 ー第17週ー

1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾 病	保 健 所							仙台市 患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第14週	第15週	第16週	第17週
水痘	2 0.50	10 1.00	2 0.40			2 0.40		9 0.33	25 0.43	545	○	○	レ	
流行性耳下腺炎		1 0.10						2 0.07	3 0.05	58				
感染性胃腸炎	19 4.75	61 6.10	27 5.40	30 15.00	6 2.00	52 10.40	5 2.50	261 9.67	461 7.95	5,547	◎	◎	◎	◎
手足口病	1 0.25					2 0.40		1 0.04	4 0.07	85				
伝染性紅斑	6 1.50	8 0.80	8 1.60		4 1.33	16 3.20	18 9.00	13 0.48	73 1.26	2,095	○	○	◎	◎
突発性発しん		4 0.40	8 1.60	1 0.50	2 0.67	6 1.20	1 0.50	19 0.70	41 0.71	433	○	○	○	○
ヘルパンギーナ									0 0.00	7				
インフルエンザ	15 2.14	12 0.80	28 3.50	12 4.00	19 3.80	19 2.38	7 1.75	87 1.98	199 2.12	29,960	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱			1 0.20		1 0.33	1 0.20		8 0.30	11 0.19	227				
流行性角結膜炎									0 0.00	42				
急性出血性結膜炎		1 0.33							1 0.08	4				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32 8.00	31 3.10	27 5.40		17 5.67	61 12.20	1 0.50	90 3.33	259 4.47	3,395	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	1				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎				1 1.00			1 1.00		2 0.17	68				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	6 1.50	2 0.20		1 0.50		7 1.40		41 1.52	57 0.98	471	○	○	○	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)						1 1.00	1 1.00	2 0.40	4 0.33	15				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2											
	川崎病							1			◎: 流行の変化について, 今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について, 今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	不明発しん症							2						

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 3例

2. 全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核(患者(確定例))
 - 塩釜管内 女性1名(第16週)
 - 仙台南管内 男性4名、女性2名
 - 結核(無症状病原体保有者)
 - 仙南管内 男児1名*
 - 仙台南管内 女性1名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: E型肝炎
 - 仙台南管内 女性1名
 - レジオネラ症
 - 仙台南管内 男性1名
- 5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症
 - 仙台南管内 男性2名
 - 百日咳
 - 仙台南管内 女性1名

※男児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

- [水痘]
 - 塩釜管内で注意報レベルを超えました。
- [感染性胃腸炎]
 - 栗原管内で警報レベルを継続中です。
- [伝染性紅斑]
 - 仙南、大崎、石巻、気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
- [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
 - 仙南、石巻管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より		感染性胃腸炎患者より	
石巻管内	第16、17週採取分	インフルエンザウイルスA(H3)	2件
	第17週採取分	インフルエンザウイルスB	1件
栗原管内	第17週採取分	ノロウイルスG I 群	2件
		ノロウイルスG II 群	2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第14週採取分 (4.1～4.7)	第15週採取分 (4.8～4.14)	第16週採取分 (4.15～4.21)
インフルエンザウイルスA(H3)★	1件	0件	0件
RSウイルス	2件	1件	0件
ヒメタニューモウイルス	0件	2件	1件

★インフルエンザウイルスA(H3)は、血球凝集性が非常に低く、型同定が難しい状況です。そのためA(H3)は、第2週検体より、免疫学的にA型が確認され、かつ血球凝集が陰性の検体を、暫定的にA(H3)と報告しています。

4. 今週のコメント

【感染性胃腸炎】

5月に入り患者報告数は減少していますが、県内の警報は継続中です。ノロウイルスの感染経路は、ほとんどが手指や食品などを介しての経口感染です。感染後、24～48時間で嘔吐、吐き気、下痢、発熱などの症状が現れます。感染予防のため、感染者の糞便や吐物の処理には十分注意し、引き続き手洗いなどの基本的な感染性胃腸炎予防対策に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
 電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
 HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansan-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

